

10代のための読書情報

TC 通信

№ 111

2023年5月号

春日井市図書館

◆ご紹介する本は、特に記載がない限り、図書館3階ティーンズコーナー所蔵です。

新着図書 ピックアップ!



『わけがわかる中学理科』

学研プラス (Gakken) / 編 学研プラス (Gakken) 40/ワ/22

「血が赤いのはなぜ?」「原子と分子のちがってなに?」「雷が落ちるのはなぜ?」…こんな質問にあなたならなんと答えるかな?

本書では、生物、化学、物理、地学の各分野ごとに、「重要な項目のまとめ」が最初に取り、できごとや現象の「なぜ?」がクイズ形式で提示され、それに答えていく。そして最後に「確認テスト」と「もっとわけがわかる5問」が用意されていて、これまでの実力が試せるしくみになっているのだ。テスト対策にも役立つそうぞ。

わかりやすいイラストが随所にあり、今まで知らなかったことも知識として自然に理解できるように工夫されている。さらに!一つ一つの問題にきちんと答えていくと、それぞれがつながっていて、それこそ「わけがわかる」のだ。

理科が苦手なあなた、得意なあなたも、ぜひ一度レッツ チャレンジ!!

名作

たからばこ

『翻訳書簡『赤毛のアン』をめぐる言葉の旅』

上白石 萌音・河野 万里子/著

NHK出版 837.5/ホ/22 4階一般



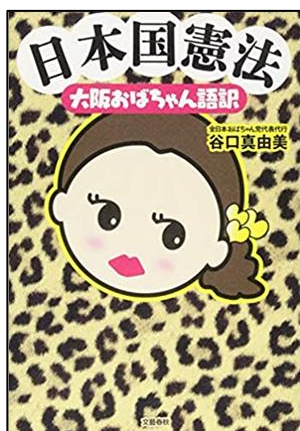
過去にミュージカルで「赤毛のアン」を演じた俳優・上白石萌音さんが、原書の翻訳に挑戦!翻訳家の河野万里子さんに導かれ、二年にわたり“Anne of Green Gables”の名場面を訳した「ラジオ英会話」(NHKテキスト)の連載が、一冊の本になりました。

翻訳は英文をいかにやわらかく自然な日本語で表現するかが肝要です。そのためには英語の語学力だけではなく、読んだときの面白さと素晴らしさを感じられるように、日本語の表現力・語い力を磨いておく必要があります。上白石さんと河野さんとの対話には、きっとたくさんの発見があるはず。

上白石さんのみずみずしい訳と、河野さんの熟練された訳の対比を楽しみながら、ぜひあなたも翻訳に挑戦してみてくださいね!

テーマ 憲法

「憲法」って何？
難しく考えずまずこちらの本を読んで、憲法の勉強をしませんか？



『日本国憲法 大阪おばちゃん語訳』

谷口 真由美/著 文藝春秋 323.1/二/14 4階一般

「日本国憲法」のこと、どのくらい知っているかな？憲法9条「戦争放棄」はよく聞くよね。憲法改正が議論される昨今、憲法の全体像を知っておくことは大切だね。むずかしくてよくわからない時は、本書がおすすめ。大阪大学の「憲法」講義でベストティーチャー賞を4度も受賞した谷口真由美先生が、憲法の前文と条文の解釈を大阪弁で語りかけてくれます。

また、おまけの章「そもそも憲法ってどうやってできたん？」では、憲法の成り立ちを分かりやすく解説してくれますよ。

この機会に、日本国憲法について改めて考えてみてはどうだろう。

『ぶっちゃけ、誰が国を動かしているのか教えてください』

西田 亮介/著 日本実業出版社 312.1/フ/22

日本は、国民が社会と政治を動かす民主主義の国です。けれどもどうにも政治が身近に感じられない、生活につながっている実感がわかなくてイマイチ関心が持てない…そんなあなたの不安によりそう、ユニークな入門書です。「そもそも、民主主義を選んだのはわたしたちなの？」「投票に行ったら政治が変わるの？」など、当たり前なんだけど実はよく分からないソボクな疑問に、気鋭の社会学者が鋭く真摯に答えてくれます。私たちの社会と政治とメディアの関係を、改めて考えてみたくなる本です。



『高校生のための憲法入門』

斎藤 一久/編著 三省堂 323.1/コ/17



“憲法”と聞くとなんか難しくて、普段の生活にはあまり関係ない感じがするかもしれません。でも、例えばいじめの問題や少年の実名報道、校則、持ち物検査といった事まで、掘り下げて考えていくと、憲法につながってくる場合があります。テレビで報道される少年による殺人事件、テレビでは顔は隠れているけど、ネットで検索してみようという人も多く、それが大きな人権問題に発展することもありますよね。

この本は、憲法に関わる具体的な事例をあげて分かりやすく書かれているので、憲法を身近に感じ、日々の生活の中で憲法を考えるきっかけになるのではと思います。

『いつか選挙に行く君に知っておいてほしいこと 1』

宇野 重規/監修 学研プラス (Gakken) 31/イ/21-1 3階児童

タイトルズバリ！な本です。3巻までありますが、今回紹介する1巻は、生活と税金・法律について書かれており、「日本の消費税は高い？低い？」「生活するのにどのくらいお金がかかる？」などの問いにイラストを使い分かりやすく解説しています。

各章の最後には、「話し合おう 政治の論点」ということで、いろいろな意見が載っていて、自分とは違う考え方を知るきっかけになります。

選挙に行くのはとても緊張しますが、この本を参考に、自分がどんな未来に住みたいかを想像し、より近い意見の候補者に投票できる準備ができるといいですね。



春日井高校 図書委員が 読んだ本！



『川のほとりに立つ者は』

寺地 はるな/著 双葉社 F/テラ/22 4階一般

「当たり前」とは何か。「優しさ」とは何か。このような問いに、私たちはそれぞれ自分の思う「当たり前」や「優しさ」を答える。だがそれは、「私」だけの考えであり、「私以外」の答えではない。この小説は、それを私たちに突きつけてくる。文字を書くことやちょっとした仕事をスムーズにこなすことも「当たり前」ではない人がいる。ADHDや書字障害などをクローズアップし、知識の無さ故の差別・偏見、ほとんど押しつけとも言える優しさをばら撒く社会に鋭く切り込む一冊。

今回の紹介者
2年濱島紗弥さん



ボランティアさんのオススメ

『ガリヴァー旅行記』

J・スウィフト/作 坂井 晴彦/訳

福音館書店 93/カ/Z 3階児童

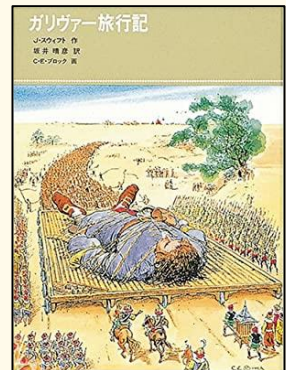
from アリスの会

ガリヴァー旅行記といえば「小人国」「大人国」を思い出す人がほとんどでしょう。また、子どもの頃一度だけ読んで終わりという人が多いでしょう。しかし、この小人国・大人国はこの本の半分なのです。

1726年(日本の江戸時代)に出版された時代のイギリスをはじめヨーロッパの宗教・思想・道徳問題に影響を受けている部分があります。

スウィフトは当時の社会の腐敗ぶりを暴くとともに、人間の心に巣くう権力欲、物欲、偽善、虚栄心、愚かさ、弱さなどを思い知らせようとして書いたといわれています。

この諷刺文学を楽しんでみてください。

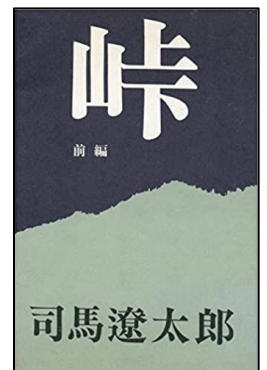


『峠』 前編・後編

司馬 遼太郎/著 新潮社 F/シ1/A1・A2 閉架一般

河合継之助を知っていますか？幕末、長岡藩は河合の指導のもと朝廷方でも幕府方でもなく、現在のスイスのような「永世中立」を目指しますが、朝廷方に降伏を迫られる。しかし、長岡の人々は河合とともに反旗を翻します。最新兵器を導入し、徹底抗戦を図りますが、やがて河合自身も戦いに倒れ、長岡を去っていきます。

前半は、河合継之助の学びと交友の軌跡が、後半は戊辰戦争、長岡藩を含む新潟地域の戦い「北越戦争」から会津藩をはじめ奥羽地方での戦いに移っていきます。近年、江戸期の日本の学術水準の高さが見直されつつありますが、倒幕運動側の正義だけで語れない幕末の動乱から人生の機微を感じ、学ぶことができるでしょう。



大人の お 押しコレ

お ぼん
大人の押し本

コレクション

大人目線でティーンズに
推したい一冊を紹介。

図書館員 N の本棚

今回ご紹介するのは、私が大好きな動物園&水族館の本です。“イワシのトルネード”や愛くるしいペンギン達を見るとホント癒されますよね～。

『あまりに細かすぎる…』の2冊は、飼育員さんしかわからない園の裏側の情報や、動物たちを「個体」としてとらえているなど、魅力的なガイドブックです。また、動物写真家の岩合光昭さんの一冊は、生き生きとした動物たちのベストショット満載です！ 全国から厳選した53の水族館を、「建築」「デザイン」という視点から紹介した本も、必見ですよ。

さあ、あなたもぜひ動物園や水族館へ！！

『あまりに細かすぎる 名古屋港水族館ガイド』

ひあMOOK中部/叢書
ひあ株式会社中部支社
480.7/A/21 4階一般



『あまりに細かすぎる 東山動植物園ガイド』

ひあMOOK中部/叢書
ひあ株式会社中部支社
480.7/A/20 4階一般



『イラストで読む建築 日本の水族館五十三次』

宮沢 洋・Office Bunsu/編著
青幻舎
528.1/ニ/22 4階一般



『岩合光昭と動物園・ 水族館を歩く』

岩合 光昭/著
朝日新聞出版
480.7/I/13 4階一般



ティーンズコーナーで待ってます！

ティーンズコーナーは、中高生（ティーンズ）世代向けに、さまざまなジャンルの本を集めたコーナーです。図書館3階の北側自動ドアから入り、まっすぐ進んだ先の左側の本棚にあります。看板が目印！

悩み解決のヒントになる本、知識を深める本、趣味を広げる本など、児童書よりもステップアップした内容のものや、10代の皆さんにおすすめの読み物を用意しています。

「〇〇について調べたい！」
「△△の本はどこ？」など、
本に関する相談や探し物は
職員に気軽に聞いてみてね。



発行：春日井市図書館

愛知県春日井市鳥居松町5-44 TEL(0568)85-6800

<http://www.kasugai-lib.jp/>

※表紙画像の掲載にあたっては出版社から許諾を得ています。